

中桐啓貴. 日本一カンタンな「投資」と「お金」の本

(Kindle の位置 No.45-50). 株式会社クロスメディア・パブリッシング. Kindle 版.

もうすぐ平成も終わりますが、平成元年に日経平均株価に投資をして、30年間持ち続けたら半分になっています。しかしその一方、米国株に30年前に投資をしていればこの30年間で10倍、ドイツ株に投資をしていても10倍になっています。アメリカ人やドイツ人は今すぐ使わないお金は投資に回そうとします。なぜなら、銀行に置いているより投資に回した方が長期的に見ればよっぽど利回りがいいと考えるからです。

世界経済は人口も増え、毎年成長をしていきます。そこに投資信託を使って分散投資をして、長期で保有してください。そうすれば、誰でも30年で資産を10倍にするチャンスがあります。

「アメリカは世界経済の中心です。ぜひ、NYダウぐらいには興味を持つようにしたいですね。20年前のNYダウは約8000ドル、いまが2万4000ドルくらいです。つまり、20年もの間、日本株がほとんど上がっていないのに、アメリカの株価は3倍になっていたということです。

その古い価値観とは、同じ企業に定年まで働き、資産は銀行預金にしておいて、定年後は国が面倒を見てくれると信じることです。65歳まで働いて、80歳で寿命を迎えるという時代から、80歳まで働いて100歳で寿命を迎えるという時代への転換を受け入れる必要があります。

長く働くには、折り返し地点である50歳前後ででもう一度学び直し、新たなスキルを習得することで自分のマーケットバリューをあげる必要があります。

投資はプラスサムということです。ギャンブルやトレードは儲かる人の裏に損をする人がいますが、投資は世界経済が発展を続ける限りは

投資をしている全員が儲けられるのです。

でも、予想はあくまで予想です。予想は反対から読んだら、嘘よ(うそよ)になります。

行動経済学

確実性効果

プロスペクト理論

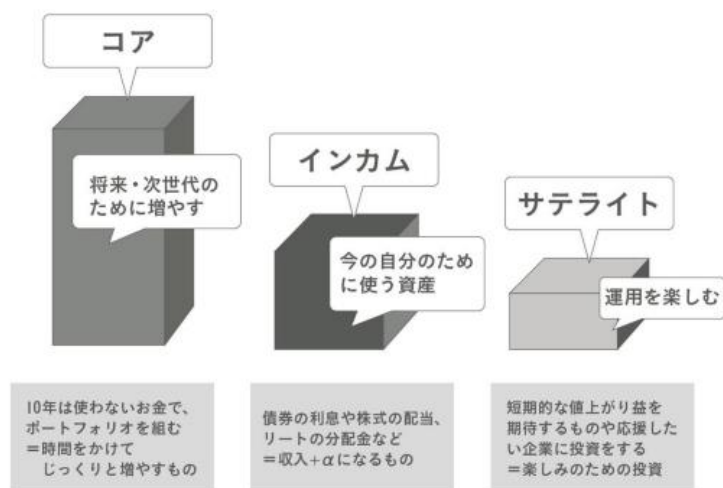
買値の呪縛

ブレークイーブン効果

スネークバイト効果

アンカリング

資産を3つに分けて運用する



共通 KPI とは 昨年 から 金融庁 が 各 金融機関 に 成果 指標 として 出す こと を 求めている 数字 で、「**運用 損益 別 顧客 比率**」などが 含まれます。簡単に 言うと、その 金融機関 に 口座 を 持って 取引 を している 顧客 の うち、どれ くらい の 人が 儲かっ て いて、どれ くらい の 人が 損 を している のかを 数値 に した もの です。